

メッセージ 3

イエス（神によって与えられた王・救い主の御名）と
インマヌエル（人によって呼ばれた王・救い主の御名）

聖書：マタイ 1:21, 23. 18:20. 28:20

I. 「彼女は男の子を産みます。あなたは彼の名をイエスと呼びなさい。彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです」——マタイ 1:21：

- A. 「イエス」は、ヘブル語の名前「ヨシュア」と等しいギリシャ語です。それは「エホバ救い主」、あるいは「エホバの救い」を意味します。イエスは、わたしたちの救い主となられるエホバ、またわたしたちの救いとなられるエホバです——ローマ 10:12-13. 5:10. 参照、ピリピ 1:19。
- B. イエスという名には、エホバという名が含まれています。エホバは、「わたしは『わたしはある』である」を意味し、それはエホバが自ら存在し、永遠に存在する永遠の方、過去おり、現在おり、将来、永遠にわたっておられる方であることを示します——出 3:14. 啓 1:4：
1. エホバは唯一「ある」方であり、彼ご自身以外の何にも依り頼まない方です。わたしたちは信仰の霊を活用して、「彼はある」ことを信じ、わたしたちは「ない」ことを信じなければなりません。彼はあらゆることでただひとりの方、唯一の方であり、わたしたちはあらゆることで無です——ヘブル 11:6。
 2. 彼は「わたしはある」として、すべてを含む方、すべての積極的な事物の実際、彼の民が必要とするすべての実際です——ヨハネ 6:35. 8:12. 10:14. 11:25. 14:6。
 3. わたしたち信者は、金額欄が空白の署名入り小切手を持っており、必要なだけそれに書き込むことができると言うことができます。光、命、力、知恵、聖、義など、わたしたちが必要とするものは何であれ、イエスがそれです。わたしたちが必要とするすべてが、イエスという御名の中に見いだされます。
- C. イエスはわたしたちのヨシュア、すなわち、わたしたちを安息の中へともたらす方です。その安息は、わたしたちにとって良き地である彼ご自身です——ヘブル 4:8. マタイ 11:28-29。
- D. 主の御名、すなわち彼のパーソンは、すべてを含む複合の霊です——雅 1:3. 出 30:23-30. ピリピ 1:19。
- E. イエスの御名は、あらゆる名にまさります——ピリピ 2:9-10：
1. イエスの御名は、わたしたちがその中へと信じるためのものです——ヨハネ 1:12。
 2. イエスの御名は、わたしたちがその中へとバプテスマされるためのものです——使徒 8:16. 19:5。
 3. イエスの御名は、わたしたちが救われるためのものです——4:12。
 4. イエスの御名は、わたしたちがいやされるためのものです——3:6. 4:10。
 5. イエスの御名は、わたしたちが洗われ、聖別され、義とされるためのものです——I コリント 6:11。

6. イエスの御名は、わたしたちが呼び求めるためのものです——ローマ 10:13. I コリント 1:2. 使徒 9:14. 創 4:26。
7. その霊は、わたしたちが呼吸する天の空気です。わたしたちは霊を活用して主の御名を呼び求めることによって、その霊を吸い込み、それによってその霊を受けます——ヨハネ 20:22. ガラテヤ 3:2. I テサロニケ 5:17. 哀 3:55-56. 詩歌 210 番。

F. 主の御名を呼び求めることの目的は、以下のとおりです：

1. 救われる——ローマ 10:13。
2. 悩み、困難、悲しみ、苦痛から救い出される——詩 18:6. 118:5. 86:7. 50:15. 81:7. 116:3-4。
3. 主の慈愛、あわれみにあずかる——86:5。
4. 主の救いにあずかる——116:2, 4, 13, 17。
5. その霊を受ける——使徒 2:17, 21。
6. 満足のために霊の水を飲み、霊の食物を食べる——イザヤ 55:1-2, 6。
7. 主の豊富を享受する——ローマ 10:12. I コリント 12:3 後半. 申 4:7. 詩 145:18。
8. 自らを奮い立たせる——イザヤ 64:7。
9. イエスの御名は、わたしたちがその中で祈るためのものです——ヨハネ 14:13-14. 15:16. 16:24。
10. イエスの御名は、わたしたちがその中へと集められるためのものです——マタイ 18:20。
11. イエスの御名は、わたしたちが悪鬼どもを追い出すためのものです——使徒 16:18。
12. イエスの御名は、わたしたちが大胆に語るためのものです——9:27。

G. サタンはイエスの御名を憎んでいます：

1. サタンは人々を利用してイエスの御名を攻撃します——参照、26:9。
2. 宗教家たちはイエスの御名を攻撃し、信者たちがその名によって宣べ伝えたり教えたりすることを禁じました——4:17-18. 5:40。
3. 使徒たちは迫害された時、イエスの御名のために辱められるにふさわしい者とされたことを喜びました——41 節. 15:26。

H. 主イエスがヒラデルヒヤの勝利者たちを称賛したのは、彼らが彼の御名を否まなかったからです——啓 3:8：

1. 回復された召会は、主イエス・キリスト以外のすべての名を捨てて、絶対的に主に属しました。
2. 主以外の名を取るによって召会を命名することは、霊的な淫行です。召会は、キリストに婚約させられた清純な処女として（II コリント 11:2）、自分の夫以外の名を持つべきではありません。

II. 「『見よ、処女が身ごもって男の子を産む。人々は彼の名をインマヌエルと呼ぶ』（インマヌエルは、神われらと共にいますと訳される）」——マタイ 1:23：

A. イエスは神によって与えられた王・救い主の御名でした。インマヌエルは人によって呼ばれた王・救い主の御名でした——23 節。

- B. マタイによる福音書はインマヌエル、すなわち、肉体と成ってわたしたちと共にいます神についての書です——21-23 節。
- C. インマヌエルはすべてを含んでいます——ピリピ 1:19：
1. 彼は、まずわたしたちの救い主であり（ルカ 2:11）、それから、わたしたちの贖い主であり（ヨハネ 1:29. ローマ 3:24）、それから、わたしたちに命を与える方であり（I コリント 15:45 後半）、それから、すべてを含む、内住する霊です（ヨハネ 14:16-20. ローマ 8:9-11）。
 2. 實際上、新約全体の内容は、インマヌエルです（マタイ 1:23. 18:20. 28:20. 啓 21:3）。キリストにあるすべての信者は、キリストの肢体として、この大いなるインマヌエルである団体のキリストの一部分です（I コリント 12:12. コロサイ 3:10-11）。
- D. 実際のインマヌエルは、わたしたちの霊の中におられる究極的に完成された三一の神の臨在としての実際の霊です。彼の臨在は、わたしたちの霊の中で、日ごとにわたしたちと共にあるだけでなく、瞬間ごとに常にわたしたちと共にあります——ヨハネ 1:14. 14:16-20. I コリント 15:45 後半. II テモテ 4:22：
1. 彼は、わたしたちの集まりの中でわたしたちと共にいます——マタイ 18:20。
 2. 彼は日々、わたしたちと共にいます——28:20。
 3. 彼は、わたしたちの霊の中でわたしたちと共にいます——II テモテ 4:22：
 - a. 今日わたしたちの霊は、インマヌエルの地です——イザヤ 8:7-8。
 - b. 神がわたしたちと共におられるので、敵は決してインマヌエルの地を占領することはできません——10 節. 参照、I ヨハネ 5:4. ヨハネ 3:6。
 4. わたしたちは、彼の聖なる御言を教えるために共に集まるとき、三一の神の臨在を享受することができます——マタイ 18:20. 28:20. 詩 119:30. 使徒 6:4。
 5. わたしたちは、三一の神の臨在としてのその霊を通して、恵みと平安を享受します——ガラテヤ 6:18. 使徒 9:31。
 6. その霊が導くことと証しすることは、彼の臨在です——ローマ 8:14, 16。
 7. わたしたちが三一の神の分与を享受するのは、その霊としての彼の臨在を通してです——II コリント 13:14。
- E. インマヌエルとしてのキリストと共に生きるために、わたしたちは彼の神聖な臨在の中にいる必要があります。彼の神聖な臨在は、三一の神の究極的完成である命を与える霊です——ガラテヤ 5:25：
1. キリストと共に生きるために、わたしたちは依然として生きているのですが、それは単独で自分自身によって生きるのではなく、インマヌエルとしてわたしたちの中で、わたしたちと共に生きているキリストによって依然として生きています。三一の神は、わたしたちの外側では、ご自身をわたしたちの存在の中へと分与するという彼の意図を完成することはできません。ですから、彼がわたしたちと共にいることは、内側のことでなければなりません——2:20。
 2. インマヌエルはわたしたちの命またパースンです。わたしたちは彼の器官であって、彼と共に一人のパースンとして生きています。わたしたちの勝利は、インマヌエル、すなわち、イエスの臨在にかかっています。

3. わたしたちは主の臨在を持っているなら、知恵、洞察力、先見性、物事に関する内なる認識を持ちます。主の臨在は、わたしたちにとってすべてです——Ⅱコリント 2:10. 4:6-7. ガラテヤ 5:25. 創 5:22-24. ヘブル 11:5-6。
- F. わたしたちは良き地の実際としてのすべてを含むキリストに入り、所有し、享受しようとするなら、主の臨在によってそうしなければなりません。主はモーセに約束しました、「わたしの臨在があなたと共に行って、わたしはあなたに安息を与える」（出 33:14）。神の臨在は神の道、すなわち「地図」であって、神の民に彼らが歩むべき道を示します：
1. わたしたちは神の建造のためにすべてを含む地としてのキリストを完全に獲得し、所有するために、この原則を保持しなければなりません。その原則とは、神の臨在があらゆる事柄に対する基準であるということです。わたしたちは何をするかにかかわらず、わたしたちが神の臨在を持っているかどうかに注意を払わなければなりません。わたしたちが神の臨在を持っているなら、すべてがありますが、神の臨在を失うなら、すべてを失います——マタイ 1:23. Ⅱテモテ 4:22. ガラテヤ 6:18. 詩 27:4, 8. 51:11。
 2. 主の臨在、主の笑顔が支配する原則です。わたしたちは主の直接の、直の臨在によって守られ、支配され、管理され、導かれることを学ばなければなりません——27:8. 80:3, 7, 17-19。
 3. 円熟した命の、王として支配する面の代表として、ヨセフは主の臨在を享受し、それと共に主の権威、繁栄、祝福を享受しました——創 39:2-5, 21. 使徒 7:9。
 4. モーセは神の心にとっても近い、神の心にしがった人でした。このゆえに、彼は満ち満ちた程度にまで神の臨在を持っていました——出 33:11。
 5. 使徒パウロは、キリストの目において表現された彼のパーソン全体の表示にしたがって、キリストの臨在の中で生き、行動した人でした——Ⅱコリント 2:10。
 6. 「わたしは若いとき、打ち勝ち、勝利を得て、聖となり、霊的になるさまざまな方法を教えられました。しかしながら、これらの方法はどれも役に立ちませんでした。……主の臨在以外に何も役に立ちません。彼がわたしたちと共におられることがすべてです」——ヨシュア記ライフスタディ、第8編。
- G. 新約全体はインマヌエルであり、わたしたちは今やこの大いなるインマヌエルの一部分です。この大いなるインマヌエルは、新天新地の新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。新約は、「神われらと共にいます」である神・人をもって開始します。そして、大いなる神・人、新エルサレム、すなわち、「エホバはそこにおられる」をもって終わります——マタイ 1:23. Ⅰコリント 6:17. 使徒 9:4. Ⅰテモテ 3:15-16. 啓 21:3, 22. エゼキエル 48:35。